

第4回 竹原市子ども・子育て会議 議事録

平成26年7月16日（水）18：30～
竹原福社会館2階 会議室

協議事項

(1) 子ども・子育て支援事業に係る関係課ヒアリング状況報告について

事務局 資料説明
資料1-1 竹原市子ども・子育て支援事業計画策定に係るヒアリングシート評価一覧
資料1-2 竹原市子ども・子育て支援事業計画策定に係るヒアリングシートまとめ
(説明：ジャパン総研)

会長 ただいまの説明した事項について、何か質問はございますか。

A委員 ヒアリングの評価で病児病後児保育は継続するとあるが、前回の会議でニーズの見込みが高いということではなかったか。改善しなくていいのか、充実にした方が良くはないか。利便性の高さを求めると安全性が低下する危惧もある。

事務局 前回の会議でお示した、国の算出方法で出したニーズは高く出ているが、現実との乖離がある場合、補正をかけても良いとされている。調整中なのでまたお示しする。改善については市との協議が必要。
(説明：ジャパン総研)

A委員 充実ならわかりやすい。継続は改善しないというように意味がとれた。利用者、受け入れ側がともにがんばってもらう必要がある。

さくらんぼでも体制を安全なものにするために、アンケート調査を行っている。目の病気なら直接眼科から医者がかかるなどしているが、医療方針がバラバラになっていいのか、一度の診療ではわかりづらいなどあるので、難しい。病児がいるのか、病後児のままでもいいのか利用者の希望によって考える必要がある。

当日みてもらってからの利用であると不便。充実という伸びしろがあった方

が良いと思う。

事務局 ヒアリングシートにおいては、定員ではなく設置個所としているので、継続としている。増やせるのかどうかも含めてこれからの協議となる。

あくまで次世代の施策のヒアリングシートであり、今後の数値の調整は実際の利用も含めて検討する。この数については、県でも調整している。竹原市においては、東広島市との連携も調整の範囲内である。

会長 実態の利用を含めて調査するということか。

事務局 実態を踏まえて子ども・子育て計画の方で、見込みの数を検討していく。

(2) 市条例で定める子ども・子育て支援新制度に関する各基準（案）について

事務局 資料説明

資料2-1 市条例で定める子ども・子育て支援新制度に関する各基準（案）

資料2-2 子ども・子育て支援に関する各種事業等の基準（案）について

資料2-3 子ども・子育て支援新制度関係政省令

会長 ただいまの説明した事項について、何か質問はございますか。

B委員 放課後児童クラブに関して、現状預かってもらえない子がいるのに、放課後児童健全育成事業の定員が40人で変わらないままだと、対象の学年が増えたとき今以上に預かれないのではないか。実際自分の子どもも3年生で入れなかった。

定員を増やすなどの検討があるのではないか。

事務局 現在1クラスあたり40人の定員だが、一部の児童クラブでは定員超過となっている。各地域の事情もあり、最終的な判断はまだしていないが、今後の運用も考えて何年生までなど個々に設定していく。

(3) 子ども・子育て支援事業計画に係る事業について

事務局 資料説明

資料3 子ども・子育て支援事業計画に係る事業について

(説明：ジャパン総研)

会長 ただいまの説明した事項について、何か質問はございますか。

C委員 一時預かりについて、前々回幼稚園が中央幼稚園だけだと言われていた。聖愛幼稚園でもされているので耳にいれておいてほしい。

事務局 現在、事業者に対して新制度への移行を調査している。その中でも引き続き行う意向をいただいている。

D委員 利用者支援事業と地域子育て支援拠点事業がどんなものか教えて欲しい。

事務局 利用者支援事業は子育てに関する総合的な相談窓口。先進地では横浜市のコンシェルジュにあたる。

(説明：ジャパン総研)

D委員 竹原市にあるか。

事務局 これから設置していくもの。竹原市では、1人そこにつけてということにするのか検討しないといけない。すでにさまざまな利用者支援は行っている。それらも配慮して検討する。

地域子育て拠点事業は竹原市にはすでに3施設ある。

(4) その他

会長 全体を通して、何か質問はございますか。

E委員 中央幼稚園以外の園も認定こども園に変わるのか。保護者のみなさんの不安等もあるので、情報提供をお願いしたい。

事務局 周知不足による不安もあると思う。今後も周知していく。ゆりかごには地域子育て支援拠点事業等の資料提供もしていく。協力もお願いしたい。

A委員 資料1-2 P18 7-③特別支援教育の推進について評価指標が研修会

だけなのだが，他には評価しないのか。

事務局 進捗評価が研修会だけなので進んでいるとしている。次世代育成の進捗ヒアリングなので，今後は内容も含めて検討していきたい。

会長 意見をまとめ

- ・資料1－2 病後児保育のニーズが高いので，継続ではなく積極的な改善や充実を検討していく必要があるのではないかという意見に対して，今後調査して検討したいという回答だった。
- ・放課後児童育成健全事業について，おおむね定員が40名となっているが，対応できないお子さんもいるので定員の拡充が必要であるとあったが，増やせないのか
- ・一時保育について，聖愛幼稚園が新制度移行後も実施されるということ。ゆりかごさんの，新制度移行後どう変わっていくのか心配の声があがっているということに関しては今後も継続して広報等で周知を行っていく
- ・特別支援教育について，評価指標について，ご指摘を踏まえて今後検討していきたいという回答
- ・次回は9月に行う予定。見込みに対する確保方策の中間報告について協議を行いたいのでまた協力をお願いしたい

以上